

単なる書類監査で終わらない 実効性のある監査にするための監査員養成の具体的ポイント

LIVE配信
アーカイブ配信

7日間視聴可能

★日時：2026年4月13日（月）10:00～16:00 ★受講料：1名 49,500円（消費税込）
★会場：WEB受講のみ（Zoomシステム） 同一セミナー同一企業同時複数人数申込みの場合 1名44,000円
※LIVE配信／アーカイブ配信（7日間視聴可能） ★受講資料：PDF資料（受講料に含む）

品質文化・その醸成、データインテグリティの原則とデータインテグリティ違反が起こる原因、実効性のある監査、不正を見抜ける監査員の養成について、豊富な経験に基づき、実践的に分かりやすく解説する特別セミナー！！

【講師の言葉】

企業ぐるみの改竄、隠蔽も企業の品質文化であり、データの信頼性を損なう重大な欠陥である。監査ではデータインテグリティの観点から観察することになるが、不正を検知するのはかなり難しいことで、監査をしたから不正があれば見つかるはずであるという構図は成立しない。

なぜなら監査では全ての実践状況を見ることができないのでサンプリングにすぎず、サンプルが不正の事実当たらない限り監査では見つけられない。これまでの数多くの監査経験から不正を見つける糸口を紹介し、監査員の養成プログラムも併せて紹介する。

【受講形式】 WEB受講のみ ※本セミナーは、Zoomシステムを利用したオンライン配信となります。

【予備知識】 特にありません。どなたでも参加いただけます。

【受講対象】 ・製薬企業で監査を担当している部署の方
・監査を行っている監査員
・監査員を養成している部署の方など

【習得知識】 1) 品質文化とその醸成 2) データインテグリティの原則 3) データインテグリティ違反が起こる原因
4) 実効性のある監査 5) 不正を見抜ける監査員の養成 など

【講師】 株式会社ヨッシャン 代表取締役 森 一史 先生
元 サノフィ（株）グローバル品質監査部門 アジアパシフィック担当 監査担当部長

1.はじめに

2. Quality Culture（品質文化）

- 2.1. Quality Cultureとは？
- 2.2. 良いQuality Cultureと悪いQuality Cultureとは？
- 2.3. Quality Cultureの指標
- 2.4. Quality Cultureのコスパ

3. データインテグリティ(DI)

- 3.1. DIとは？
- 3.2. 規制当局の指摘事例に学ぶ
- 3.3. DIの起こる原因
- 3.4. ALCOAの原則
- 3.5. GDOCP
- 3.6. DI違反のリスクと対応

4. 実効性のある監査

- 4.1. 監査の目指すゴール
- 4.2. 監査で検知できること
- 4.3. 現場ツアーのポイント
- 4.4. 書類確認のポイント
- 4.5. 効果的なヒアリング
- 4.6. ケーススタディ

5. 監査員の養成

- 5.1. 監査員に求められる力量
- 5.2. 監査員養成プログラム
- 5.3. 力量の維持管理

まとめ

質疑・応答

【受講者の声】

- ・監査を担当されていた講師の経験に基づくお話は、参考になる点が多く参加できてよかったです。ありがとうございました。
- ・社内で行っている最中のテーマであり、参考にできる部分が多くありました。活かしたいと思います。
- ・実務で活かせるお話も多々あり、とても参考になりました。ありがとうございました。
- ・経験に基づき事例を交えながらの解説で分かりやすかったです。

◆セミナーお申込要領

- ・弊社ホームページの申込欄又は、E-mailかFAXにてお申し込みください。
- ・受付後、受講票・請求書等をメールで送信します。
- ・開催日の8日前以内のキャンセルの場合、受講料の全額を申し受けます。

◆申込書：2026年4月13日：セミナー
会社名： 部署名：
住所：
TEL： FAX：
氏名：
Email：

◆申込先



株式会社TH企画

〒108-0014 東京都港区芝4丁目5-11 芝プラザビル5F

TEL: 03-6435-1138

FAX: 03-6435-3685

Email: th@thplan.com

URL: <https://www.thplan.com/>

詳細、その他のセミナーは、ホームページをご覧ください。

検索

TH企画



サイト内
キーワード検索

0413
(開催日)